

令和8年度

救助工作車仕様書
(下田消防署)

下田地区消防組合下田消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様書は、下田地区消防組合下田消防本部(以下「本部」という。)が購入する救助工作車Ⅱ型(以下「車両」という。)の艤装、性能及びこれらに関する一切の製作について必要な事項を定める。

2 適合法令等

車両の製作は、この仕様書及び製作承認図(契約後受注者にて製作すること。)他、次に掲げる法令等に適合すること。

また、緊急車両として承認を得られるものとし納入時には緊急自動車届出確認証が車両に積載されていること。(別途協議)

- (1) 道路運送車両法(昭和 26 年法律第 185 号)
- (2) 道路交通法(昭和 35 年法律第 105 号)
- (3) 電波法(昭和 25 年法律第 131 号)
- (4) 道路運送車両の保安基準(昭和 26 年運輸省令第 67 号)
- (5) 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令(昭和 61 年自治省令第 22 号)
- (6) 日本産業規格(産業標準化法(昭和 24 年法律第 185 号)第 20 条第1項の日本産業規格をいう。以下同じ。)
- (7) その他の関係法令等

3 車両概要

車両は、緊急消防援助隊基準額告示に示す救助工作車Ⅱ型を基本とし、5.5t車級シャシにウインチ装置、クレーン装置、屋上上昇式照明装置等を装備するとともに各種救助用資機材を積載し、あらゆる災害に際し、迅速、適切な人命救助活動に供することができる救助工作車とする。また本仕様書に示す項目や明細等は車両の概要を示すものであることから、記載されている装備等の名称等に差異があっても、本仕様書で求める性能や機能等を満たしていると受注者から申し出があり、本部が認めた場合は、これを変更することが出来るものとする。

4 特許権

工業所有権に関する手続等の特許に関する法律(平成2年法律第 30 号)、特許法(昭和 34 年法律第 121 号)、実用新案法(昭和 34 年法律第 123 号)又は意匠法(昭和 34 年法律第 125 号)上の権利及び技術上の知識を侵害することのないよう必要な措置を講ずること。また、それらの運用及び適用に係る費用は、受注者の負担とすること。

5 製作上の問題処理等

- (1) 製作に当たっては関係業者と緊密な連絡を保ち、誠意を持って行うこと。
- (2) 仕様内容に疑義が生じた場合又は仕様の変更が必要な場合は、本部とその都度速やかに協議し、承認を得たあと施工すること。
- (3) 仕様内容については、本部の解釈に従うものとする。
- (4) 車両の製作にあたり、法令等に抵触する問題が生じた場合は、受注者においてこれらの問題を解決し、その旨を本部に報告すること。

6 製作上の注意

車両は、登録された車両総重量の状態において十分耐え得るもので、次のとおりとする。

- (1) 標準装備以外の各装備及び商品の取り付けは、ボルト締めを原則とすること。

- (2) 清掃、点検、車両法定点検整備含、調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- (3) 使用取り扱い上の安全性及び操作性を十分考慮すること。
- (4) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
- (5) 装備品等は機能的、かつ、バランスよく配備すること。
- (6) 堅牢にして長期の使用に十分耐え得るもので、維持管理が経済的に行えるものとする。
- (7) 洗浄ができ、かつ、残水等の生じない構造とすること。また、車両が積載資機材の接触等により 塗装剥離の恐れのある部分には、適切な保護対策を講ずること。
- (8) 車両全般にわたり、防水、防蝕及び防錆措置を十分に行うこと。

第2 提出書類

1 承認図書

受注者は、契約後速やかに本部と詳細打ち合わせを行うものとし、その後1ヶ月以内に次の書類(A4版に製本)を各3部提出し、承認を受けること。

なお、承認後1部を受注者へ返却するものとする。

- (1) キャブ改造図(空気呼吸器固定装置、後部座席改造図等を含む)
- (2) 車両カタログ(シャシ5面図・諸元明細書含む)
- (3) 製作工程表
- (4) 製作図等
 - ア 艀装諸元明細書
 - イ 艀装外観5面図(縮尺 1:20)
 - ウ 車両骨組図
 - エ 動力伝達装置関係図
 - オ 電気系統図、配線図(配線及び容量)及び電力計算書
 - カ 主要装備品製品図及び架装図
 - (ア) クレーン装置
 - (イ) ウインチ装置
 - (ウ) 屋上上昇式照明装置
 - (エ) 操作盤(配電盤、制御盤)
 - キ 車両資機材の積載要領図
 - ク はしご昇降装置関係図
 - ケ 各種ワイヤー類、シャックル、ピンドルフック、牽引装置、確保用D環・O環等の強度表
 - コ その他、当本部が必要と認めるもの。

2 製作着手

承認図書の審査を受けた後、着工すること。

3 進捗状況の報告

製作工程ごとの進捗状況を示す書類、写真を A4版に製本して 2 部提出すること。

4 完成図面

納入時に次の書類(A4 版に製本)を 2 部提出(写し可)すること。

- (1) 自動車車検証の写し
- (2) シヤシ取り扱い説明書及びシヤシ諸元明細表
- (3) 自動車取り扱い説明書及び整備要領書
- (4) 製作図(電装品配置図を含む)
- (5) 車両構造図
- (6) 資機材積載要領図
- (7) 自動車改造計画書
- (8) 動力伝達装置関係図
- (9) 艤装後の重量分布及び転覆限界計算書(実測証明書)
 - ア 最大安定車両角度
 - イ 前、後車輪最大荷重(軸重)
 - ウ 走行性能(出力性能曲線図)
 - エ 旋回走行軌跡図
- (10) 各使用電球等、ヒューズの形式、容量一覧表
- (11) 装備品等一覧表(保証書付)及び取り扱い説明書
- (12) 主要資機材一覧表(保証書付)及び取り扱い説明書
- (13) 納品書、納品説明書
- (14) その他、本部が指示するもの。

5 写真(カラー、jpg形式の電子データ付)

次に掲げる写真(A4 版ファイルで製本)をそれぞれの指定部数提出すること。

- (1) 完成車両(新規登録でナンバー付)の前後左右及び斜め4方向と上方前後方向並に下方前後左右方向から撮影したもの。(3部)
- (2) 製作工程に基づくシヤシから完成車までの状況を撮影したもの。(2部)
- (3) 塗装状況が確認できるもの。(工程ごと2部)
- (4) 付属品を撮影したもの。(2部)
- (5) その他、本部が指示するもの。

第3 車両

1 諸元及び性能

- | | |
|-------------|---------------------|
| (1) シヤシ | 5.5t級シヤシ(低床型) |
| (2) キャブ | シングルワイドキャブ ハイルーフバス型 |
| (3) ホイールベース | 約 3,790mm |
| (4) 積載クラス | 5.5t車級 |
| (5) 車両総重量 | 11t未満 |

(6) エンジン	240PS以上
(7) エンジン型式	水冷4サイクルディーゼルターボエンジン
(8) トランスミッション	6速マニュアル
(9) 駆動方式	四輪駆動
(10) ステアリング	パワーステアリング
(11) 乗車定員	5人
(12) バッテリー	車両装備の電装品を同時に補える容量を有するもの。 なお、日常点検が容易に行えるもの。
(13) オルタネーター	24V-90A 以上
(14) 燃料タンク	100ℓ 以上
(15) リーフスプリング	バネ常数の高い強度スプリングに変更する。
(16) 坂道発進補助装置	当該車両適応品

2 車両の主な装備品

- (1) エンジン回転計
- (2) エンジン油温計
- (3) エンジンアワーメーター
- (4) エンジンアイドルリングコントロールシステム
- (5) バッテリーメインスイッチ
- (6) 電流計、電圧計
- (7) 後退警報機(ON・OFF切替スイッチ付)
- (8) トランスミッション PTO
- (9) ABS装置
- (10) LED式ヘッドランプ
- (11) オイルパンヒーター(マグネット式 10m付)
- (12) バックアイカメラ(ルームミラー型 常時監視付)
- (13) カーナビゲーション(8インチ以上、ラジオ受信可能、地デジ視聴不可)
- (14) バックソナーシステム
- (15) 後方誘導員集音装置(双方向会話可能方式)
- (16) フロントエアコン
- (17) 集中ドアロック
- (18) 全窓パワーウインドウ
- (19) サンバイザー(運転席及び助手席)、サイドバイザー4箇所(ステンレス)
- (20) 空気呼吸器固定装置(5基)
- (21) ラジアルタイヤ(アルミホイール付、予備タイヤ前後各1本含む)
- (22) 隊長用補助ミラー

- (23) LED室内灯
- (24) 大型デジタル式時計(24Vバッテリー電源)
- (25) フォグランプ(純正品)
- (26) フレキシブルマップランプ(助手席側上部及び後部座席左右に取付)
- (27) リアエアコン(クーラー及びヒーターとクーラーはシャシ純正とは別にコンプレッサーを設けると)
- (28) ESスタート
- (29) 予備キー(3個)
- (30) ドライブレコーダー(前後常時録画型)
- (31) タイヤチェーン
- (32) スタッドレスタイヤ(アルミホイール付・予備タイヤ含む)
- (33) インバーター(1000W以上)
- (34) 車輪止め(大×2式、小×1式 取付)
- (35) フロアマット
- (36) 標準工具
- (37) 停止標示板
- (38) 発煙筒
- (39) その他メーカー標準装備

3 キャブ艙装

ボディーは、鋼板製とし走行による振動等に十分耐え得る構造で次のとおりとする。

(1) キャブ等の構造

ア キャブは、シングルワイドキャブとし、居住性に優れた構造とすること。(別途協議)

イ キャブ内は低床型とし、エンジン部分の点検等が容易に行えるように電動キャブチルト構造とすること。

ウ キャブ上部にはアルミ縞板を張り、重装備での活動に耐えられること。また、耐荷重を有するアルミ製縞板落とし込みルーフトレックを設け、強固なD環フックを4箇所取り付けすること。

エ 後部座席乗降口はドア開閉に連動した展開式ステップとし、蹴り込み部分にアルミ縞板を張り付けること。また、開放時側面から視認できるように点滅式の開放警告灯(LED)を設けること。

オ 前席フロントステップのつま先当り及びフェンダー上面はアルミ縞板張りとすること。

カ フロントバンパーは、シャシフレームを前方に伸ばし、その上部面にアルミ製縞板ステップを設けるとともに、ステンレス製ピンドルフック(3t用)2個をシャシフレームの間隔左右に取り付けること。

キ フロントバンパーナンバープレート両側面にシャックルフック(3t用)2個を取り付け、車両走行時フックが揺れない施工を施すこと。

ク 前席及び後部座席乗降口にステンレス製乗降用アウター握り棒を設けること。

ケ 車両前部フロントガラス下部中央にメッキグリップを設けること。

コ コーナーセンサーを前後バンパーに取り付け、車内で警報音が鳴動すること。

- サ リヤフェンダー上面及び蹴り込み部分にはアルミ縞板張りとする事。
- シ エンジン点検用のLED照明灯を取り付ける事。
- ス 車室は堅牢な天蓋及びドアを設ける事。
- セ 隊員が安全に乗車できる座席を設ける事。
- ソ キャブ内は、前部隊員席の車高は1.8m以上とし、後部隊員席の室内高は2.0m以上、横幅2.0m程度を確保し可能な限り広くすること。
- タ キャブ後部は後方に拡張し、前後方向で1.2m程度を確保すること。また、座席を可能な限り後方とし足元スペースを広くすること。
- チ LED赤色警光灯はハイルーフ内に前面から側面にかけてグローブ形状で埋め込むこと。
- ツ ナンバープレートには前後ともにステンレス製保護枠を設ける事。
- テ サイレン用スピーカーはハイルーフ上部の左右赤色警光灯下部にそれぞれ出力50Wのものを取り付ける事。モーターサイレンは、バンパー内に埋め込むこと。
- ト オイルパンヒーター兼用マグネットコンセント(キャップ付)はキャブ右側面下部に取り付ける事。
- ナ バッテリーは、点検が容易な引き出し式とし、バッテリーの周囲は雨・雪が入らないようボックスを設ける事。また、コード類は保守管理に支障のないよう十分余裕をとること。
- ニ エンジンオイルレベルゲージは、キャブチルトをしなくても点検できるものであること。
- ヌ 排気管は、艤装部分と適切な間隔を保ち、ボックス等に近接する部分に防熱処理を施すこと。また、溶接部分の継目は確実な耐熱防錆処理を施すこと。
- ネ キャブ上方に無線等の空中線を取り付けることができるようにすること。(詳細は別途協議)
- ノ 車体の左右に車輪止め各2個収納枠付きで取り付ける事。(位置は別途協議)
- ハ 尿素水タンクは補給が容易に補給できる構造とし、注水口に合わせた切り欠き等を設ける事。

(2) 内部装備品等

- ア キャブ内の座席は前列2席、後列3席とし、全席にシートベルト及び超防汚シートカバーを装着すること。
- イ 助手席1基、後部座席3基は、空気呼吸器埋め込み型シートとする。機関員用1基を資機材収納庫へ取り付け、各座席付近に面体及びヘルメット吊り下げ用フックを必要個数設ける事。(詳細は別途協議)
- ウ 後部座席シートは全て独立シートとし、座面は跳ね上げ可能なものとする事。(詳細は別途協議)
- エ 各座席シートは強固な材質で製作し、防水性に優れた構造のものとする事。
- オ センターコンソールボックス後方に携帯無線機等を収納できる収納ボックスを設ける事。
- カ 運転席と助手席の中央部分下部に収納ボックスを設ける事。
- キ カーナビを取り付け、地上デジタル放送を視聴できない状態とする事。
- ク キャブ昇降用のステンレス製手摺を必要数設ける事。
- ケ 運転席及び助手席の側面上部にルーフネットを取り付ける事。
- コ 前席及び後部隊員用にサイレンアンプマイクを各1個取り付け、後部座席から容易に取り扱いきる位置に設置すること。
- サ 前席助手席からキャブ後方にアクセスできるウォークスルー構造とし、スペースを可能な限り広くすること。また、ウォークスルー構造部は資機材が取り出しやすいように、必要に応じたロープフック

- 等を製作すること。
- シ 後退警報器の、ON、OFF切替スイッチを運転席付近に設けること。
 - ス センターコンソール付近に、携帯電話等の充電が可能なコンセントを2口設けること。
 - セ 後部座席上部及び中央部はパンチングタイプにより、移動可能なフック、滑り防止、固定用ベルトを必要数設けること。(詳細は別途協議)
 - ソ キャブ中央部には、展開式又は引き出し式の机を設けること。
 - タ 後部壁面にホワイトボードを着脱式で設けること。
 - チ 後部座席床面は、フルフラット構造とし、キャブ内の足元蹴りこみ部全てに傷がつかないようアルミ縞板張りとする。
 - ツ 前席上部及び後部座席上部に、ドア連動のLED 室内灯を設けること。
 - テ ドライブレコーダーは、トラック専用で衝撃作動及び常時録画機能の両方を有するもので、運転の妨げにならない場所へ取り付けること。
 - ト シフトレバー及びPTO スwitch、メインスイッチを照射するLED 灯を設けること。
 - ナ キャブ内に小型メガホン及び携帯ライト等の収納ボックスを設けること。
 - ニ キャブ内後部座席上部に資機材掛け用パイプ及びS 字フックを10 個取り付けること。(別途協議)
 - ヌ 運転席と助手席の間にサイレンアンプ、無線装置、AVMモニタなどを収納及び取り付けする大容量のセンターコンソールボックスを設けること。(無線装置本体及びAVM 装置一式は載替え使用する。(詳細については別途協議)
 - ネ 運転席と助手席の間のセンターコンソールボックス部分に、車両のドア、各ボックス、各シャッター、クレーン(アウトリガー含む)、照明装置及び三連梯子収納が個別に判別できるように点灯させること。
また、いずれかが点灯した状態でサイドブレーキを解除すると警告音が鳴動するようにすること。
(詳細については別途協議)

第4 艀装関係

1 完成車の寸法及び重量

- (1) 全 長 7.8m以下
- (2) 全 高 3.3m以下(無線アンテナ含まず)
- (3) 全 幅 2.42m以下
- (4) 車両総重量 11t未満

2 主な装備品

- (1) ウインチ装置
- (2) クレーン装置
- (3) 屋上上昇式照明装置
- (4) 三連はしご手動昇降装置
- (5) 無線電話装置

3 艀装材料

- (1) 艀装材料の厚さは次によるものとし、フロアステップ、バンパー上部、リアフェンダー上部、その他必要とする部分はアルミ製縞板とし、厚さは次によるものとする。
 - ア 車体上部 3.5mm以上(アルミ製縞板)
 - イ 側板 1.5mm以上
 - ウ スカートボックス 1.2mm以上
- (2) 保護枠、計器盤、蝶番、手摺り、その他金属の露出部分及び取り付け等に使用するボルトナット類の材質は全てステンレス製のものとし、ネジの緩み防止剤又は、ロックナットを使用し緩みが生じないように確実に取り付けること。
- (3) コーキング類は弾力性があり、永年使用により硬化しないものを使用すること。
- (4) プラスチック類は、全て難燃性のものを使用すること。
- (5) ゴム製品は全て耐油性の合成ゴムを使用すること。

4 ウインチ装置

- (1) ウインチ装置の動力は車両トランスミッションPTOで高圧ポンプを駆動させ、最大直引き能力常時 5t級の前引き油圧ウインチ装置を架装すること。なお、車体振動、ねじれ等に十分耐える強度を有すること。
- (2) ワイヤロープの先端にシャックルを介して、安全チャック付5t用アイフック(蛍光塗装)を取り付けること。
- (3) ウインチ(車両)とワイヤロープの牽引角度は、全方位 25度以上対応可能とし、乱巻き、キック等が生じない構造とすること。
- (4) ウインチはトランペットカップ等を取り付け、乱巻きを防止できるものであること。
- (5) 安全装置として、過負荷防止装置及び逆転防止ができるものであること。
- (6) ワイヤロープが手動で容易に引き出せる構造であること。
- (7) 操作がリモコンで行えるほか、緊急時は手動操作が行える構造であること。
- (8) リモコン装置の接続コネクタは、フロントバンパー部両下部側部の操作に支障にならない場所に取り付け、接続部分は防水とすること。(取り付け位置は別途協議)また、フロントバンパー中央部にシャックル等を収納できる収納庫を設けること。
- (9) ウインチ用の、ステップアルミ保護カバーを取り付け、必要に応じて容易に取り外しができる構造とすること。
- (10) ウインチの操作方法は手動及び有線リモコンとする。

(11) 要諸元

ア 型式	ロッツラー社製 TR030/7 TREIBMATIC (又は同等品以上)
イ 最大張力	常時5t以上
ウ 駆動方式	2ローター巻取方式
エ 動力伝達装置	トランスミッションPTO
オ ワイヤの長さ	全長 60m(有効 45m 以上)
カ ワイヤ外径	13mm 以下
キ コントローラースイッチ	有線リモコン装置

- (12) 本仕様に明記されていない点はウインチメーカー公表の標準仕様とする。
- (13) 附属品としてJIS型BCシャックル(呼び 18・22)各2個を用意すること。
- (14) クレーン及びウインチの切替スイッチをステンレス製保護枠により保護し、夜間でもスイッチを視認できるLED照明灯を設け、車両左右前方に2箇所、車両後部に1箇所取り付けすること。

5 クレーン装置

- (1) クレーン装置の動力は車両トランスミッションPTOで高圧ポンプを駆動させ、シャシ後部に最大吊上げ能力 2.9t級クレーン装置を架装し、シャシフレームを必要に応じ補強すること。

(2) 主要諸元

ア 型式 軽量4段 ユニック UR-G304GRQ(又は同等品以上)

イ クレーン容量 2.9t以上

ウ 動力伝達装置 トランスミッションPTO

エ 最大ブーム長 8.7m 以上

オ 連動ジョイスティックラジコン(全自動格納機能付)

カ 最大地上揚程 約 10.5m 以上

キ 安全装置等

(ア) 巻過防止装置

(イ) ワイヤ押さえ装置

(ウ) 起伏格納警報装置

(エ) デジタル式荷重計

(オ) ブーム、アウトリガー未格納確認装置

(カ) PTO アワーメータ

(キ) フック平行移動

(ク) フック自動格納(縮、伏連動)

(ケ) フック格納解除(起連動)

(3) 取り付け位置

車両後部

(4) その他

ア 手動引き出し式アウトリガージャッキとし、地上接地面を照射するLED照明を設けること。

イ 両側アウトリガーシリンダー部は、ボディ形状が一体となるようにシリンダーカバーを取り付けること。また、アウトリガー上部に全方向から視認できるLED式黄色警告灯を取り付けること。

ウ クレーン操作部の見やすい位置に水準計を設けること。(照明付き)

エ アウトリガージャッキ用敷板 2枚(取手付、マグネット付)を用意すること。敷板は、アウトリガー付近に収納すること。(詳細については別途協議)

オ 夜間の視認性を高めるためにブーム下部にLED照明を取り付けること。なお、クレーン操作部付近にスイッチを設けること。(詳細については別途協議)

カ 車体上部に、クレーンフックの受け台(緩衝材付)を取り付けること。

キ キャブ内センターコンソールボックスにアウトリガーロックが解除されているときに点灯する警告灯を取り付けること。

- ク クレーン操作部両側に点検時に有効な開口部を設けること。(詳細については別途協議)
- ケ 本仕様書に明記されていない点は、クレーンメーカー公表の標準仕様とする。
- コ アウトリガー上部及びクレーンブームに支点となる強固なD環若しくは環フックを左右に取り付けること。(別途協議)

(5) 付属品

繊維スリング、先端灯(LED)

6 屋上上昇照明装置

- (1) 屋上上昇照明装置は、車両バッテリーを電源として動作し、操作配電盤、ケーブルレス伸縮装置、投光器で構成されたもので可能な限り省スペース化を実現し、照明設備として優れた防塵、防水性能を有するものであること。照明装置は車両上部に自動伸縮式照明装置を設け、夜間のあらゆる災害時の照明作業を十分に行える能力を有し、長年使用に耐えられるものであること。
- (2) 点検が容易にでき、無線障害及び雑音が発生しない構造とすること。
- (3) 屋上上昇照明装置
 - ア 投光器 (株)湘南工作所 SLD-2402UCL-D (又は同等品以上)
 - イ 操作方法 有線リモコン及び無線リモコン
 - ※ 車両側に照明専用のメインスイッチを設けること。
 - ウ 伸縮装置 油圧ケーブルレス方式(緊急時には手動にて下降できるもの。)
(株)湘南工作所 SVO-180CL4A (又は同等品以上)
 - エ 取付位置 キャビン後部(詳細については別途協議)
- (4) 車両コンセント
 - ア 車両後部側面に 25メートル以上のケーブル自動巻取りリール(残量表示付)式防水コンセント2口を設けること。(詳細については別途協議)
 - イ 資機材収納庫前方両側面に各1箇所コンセント(2口)を設けること。(詳細については別途協議)

7 取付品及び取付装置

別紙のとおりで、同等以上の性能を有するものへの変更を可能とし、その際は事前に資料を提出し本部の承認を得るものとする。

(1) 赤色散光警光灯(スピーカー)

車両前側上部にFRP製ステージと一体型のLED散光式赤色警光灯を取り付け、電子サイレンスピーカーを左右に設置すること。

(2) LED赤色警光灯

ア 車両前部

(ア) 車両前部フロントグリル内に埋め込み式LED赤色警光灯を4個取り付けること。

(イ) ナンバープレートの両側面にLED赤色警光灯を及び保護枠を取り付け、上部シャックルフックに干渉する部分は、アルミ製縞板を取り付けること。

(ウ) 点滅は、各LED赤色警光灯と連動させること。

イ 車両後部

(ア) 車両後部の左右対称の位置にLED赤色警光灯を各1個(計2個)及び保護枠を取り付けること。

(イ) 点滅は、各LED赤色警光灯と連動させること。

ウ 車両側面

(ア) 車両両側面上部屋根嵩上げ部分にLED赤色警光灯を各 3 個(計 6 個)及び保護枠を取り付けること。(取り付け位置は別途協議)

(イ) 点滅は、各LED赤色警光灯と連動させること。

エ 車両上部

車両上部に対空用としてLED赤色警光灯及び保護枠を設置すること。(取り付け位置は別途協議)

(3) 電子サイレンアンプ

ア 電子サイレンアンプ、無線電話装置本体、各電装品のスイッチ等は、運転席と助手席の間にセンターコンソールボックスを設け機能的に取り付けること。(取り付け位置は別途協議)

イ 電子サイレン及び警鐘の擬似音を発することができ、かつ拡声装置として使用できるものであること。

ウ サイレン等を吹鳴し任意にアンプ内蔵の合成音声を発声できるものであること。

(4) モーターサイレン

取り付け位置は別途協議。

(5) 照明装置

ア キャブ側面上部に作業灯を各 1 個(計 2 個)設けること。(取り付け位置は別途協議)

イ 車両両側面上部屋根嵩上げ部分に作業灯を各 3 個(計 6 個)及び保護枠を設けること。(取り付け位置は別途協議)

ウ 車両後部にLED式作業灯を 2 個及び保護枠を設けること。(取り付け位置は別途協議)

エ 資機材収納庫内に必要数のLED式作業灯を設けること。(取り付け位置は別途協議)

オ シャッターレール部作業灯を設け、シャッターを開けると点灯する構造とすること。

カ ハイルーフ前方に車両前方での活動時に有効なLED式作業灯を 1 個設けること。

キ 以下の箇所にLED式作業灯を設けること。

(ア)ウインチ操作部

(イ)クレーン操作部

(ウ)クレーンブーム下部

(エ)収納庫内

(オ)エンジン部

(6) 三連梯子手動式昇降装置

ア 車両上部左側の作業スペースを有効に確保できる場所に三連梯子を積載し、車両後方に手動で昇降できるステンレス製の装置を設けること。また、その上部に単梯子を個別で積載できる構造とすること。

イ 昇降装置は操作が容易で、かつ振動等により外れない構造とすること。

(7) 消防章(150mm)をフロントグリル中央部に黒色台座で強固に取り付けること。

8 積載品及び付属品

安全確実に積載でき容易に取り外しができる堅固な装置を備え、積載品及び付属品については別紙のとおりとし、同等以上の性能を有する物への変更を可能とし、その際は事前に資料を提出し本部の承認を得るものとする。また、契約から納入するまでの間に、各種装置及び資機材の改良又は開発等が行

われ、本仕様書に記載のものより機能性、耐久性等が上回る場合は、速やかに本部と協議し検討すること。

9 車両の形状及び艤装要領

(1) 骨組外装等

- ア 車両の形状はキャブと一体感のある丸みを帯びた曲面型で、後方の視認性が良い構造とし、上部には立ち上がりの外壁を設け、キャブハイルーフの高さと合わせる。また、リアバンパー左右は絞りを入れ、車両旋回時に接触を予防する構造とし、後部オーバーハング部分の底板部は底擦り防止のための措置を講ずること。(別途協議)
- イ 艤装は、努めてアルミ板及びステンレス鋼を使用し、総合的な重量軽減を徹底的に図るとともに車両全体の重量バランスを考慮して施工すること。
- ウ 車両の骨組は、完全に自立する構造とし、側板、腰板等に直接大きな荷重を負担させないこと。
- エ 車両上面はアルミ製縞板とし、雨水等が滞留及び車両内部に浸水しない構造とすること。
- オ 車両は全般にわたり防食、防水及び耐水性を充分考慮して工作すること。
- カ シャンに骨組みを取り付ける場合は、リベット接手又は、ボルト締めとし、主要部分のボルトにはダブルナット等の使用により緩み止め防止を施すこと。
- キ シャンフレームに艤装上の構造物、枠組み取り付け台等を取り付ける場合は、原則として弛緩しない方法でボルト締めすること。
- ク 主要積載品及び取り付け品は、それぞれ強固な固定装置を設けて積載するか、取り付けること。
- ケ 隊員の昇降、危険防止及び車両整備等の必要な場所に、ステンレス製の手摺、足掛かり、握り棒等を必要な場所に設けること。
- コ ブラケット、手摺、握り棒等を取り付ける部分には、十分な補強を施すこと。
- サ 車両の重要な点検箇所及び主要部分には、点検整備に必要なスペースを確保するとともに必要な箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- シ 燃料給油口は、給油に際し容易な位置に設けて給油口には燃料の種類と容量を記入すること。
- ス 後部フェンダーは、タイヤチェーン装着時の走行、タイヤ交換及び積雪時におけるタイヤチェーン掛けの障害とならない構造とし、内側にアルミ縞板を張り反転式ステップのチェーンレスとすること。
- セ 車体の両側面はキャビンと一体感のある丸みを帯びた曲面構造とすること。
- ソ 車両両側面上部屋根部分に嵩上げ部分を設け、LED作業照明灯 3 個(計 6 個)及びLED赤色警告灯 3 個(計 6 個)を左右に設置すること。(詳細については別途協議)
- タ 車両両側面上部屋根嵩上げ部分に、強固な環フックを各 2 箇所(計 4 箇所)取り付けすること。(詳細については別途協議)
- チ 車両両側のリアフェンダー内に、強固な環フックを各 2 箇所(計 4 箇所)取り付けすること。(詳細については別途協議)
- ツ 車両後方から後部ステップへ容易に昇降できる、LED 内蔵大型折り畳みステップを左右に設けること。
- テ 車両後部両側に、車両最大牽引能力に十分耐えられるシャックルフックを設けること。
- ト 車両後部バンパー中央部に大型収納庫を設けること。

10 資機材収納ボックス等

- (1) 収納スペースは、可能な限り設置し大容量な構造とすること。また、収納庫はすべての資機材を迅速に取り出せるように施工すること。
- (2) 各ボックスは積載する資機材の現物に合わせて作製し、デッドスペースを極力無くし、メンテナンスも考慮して作製すること。また各ボックスの蓋はパンチングとすること。
- (3) 収納庫は将来資機材の変更が生じた場合に対応できるよう容易に変更できること。(詳細については別途協議)
- (4) 収納庫等の各棚には、積載資機材を固定する脱着が容易な固定装置(固定金具又はマジックバンド等)を設けること。(詳細については別途協議)
- (5) 車両の両側面(左右各2枚)に設ける収納庫のシャッターは耐久性、防水性を有する堅牢な構造で、手動において開閉できる機能であること。なお、開閉は任意の位置において停止できる構造とすること。また黄色の引き降ろしベルトを取り付けること。
- (6) シャッターには走行時の振動等により、歪み、がたつき又は開放の恐れのない完全ロック装置を設けること。
- (7) 運転席でシャッターの開閉状態が確認できる扉開閉確認灯を設けること。(詳細については別途協議)
- (8) アンダーボックス及び両側後輪のフェンダー部分の扉(チェーンレス)は、フルフラット方式とし、上部ボックスの資機材を積み降ろしする際のステップを兼ねるので、内側をアルミ製編板で張り滑り止めを施すこと。開扉時は狭隘路対策として扉の一部が車体下部に潜り込む構造とする。また、水平位置で固定でき、アンダーボックス扉とフェンダー扉は開いた際に隙間のないフルフラット構造でかつ高さ及び飛び出し幅がすべて揃う構造で隊員2人(180kg程度)の荷重に十分耐える強度を有し変形しないこと。なお、扉は軽量の素材を使用するとともにダンパー等により滑らかに開閉し、閉扉時は内蔵型ロック装置を設けピラーレス構造とすること。また開扉時の危害防止のため、扉の周囲に黄色の高輝度反射テープ及びステップ灯を設けること。
- (9) 各ボックスには水抜き穴を設けること。また必要に応じて排水パイプを取り付け、車両の下方に取り出すこと。
- (10) 資機材の固定装置は、ベルト、クリップ、ブラケット、チェーン等で固定し着脱が迅速、容易にできること。また、必要に応じて、スノコ板又は厚いゴム板等を敷くこと。
- (11) ボックス内の資機材が格納中、走行振動等により移動または落下しないように現物に見合った脱着が容易な固定装置を取り付け、さらに積み降ろしを容易にするためレールまたはローラー台を設けること。
- (12) ボックス内には、資機材が容易に積載及び取り出せるよう棚等を設けること。なお、当本部現有資機材は、上記同様に積載できるようにすること。(詳細については別途協議)
- (13) 資機材の格納配置については、重量物をできるだけ下方に積載するように配慮し、レール又はローラー台を設けること。(詳細については別途協議)
- (14) 収納庫内に内部が二重構造の救命索発射銃の厳重品用格納ボックスを設け、扉はテンキー式ロックにより確実に施錠できるようにすること。(配置及び寸法については別途協議)
- (15) 積載小物品は、取り出しを容易にするようにまとめて収納すること。その際、それぞれの用途に合わ

せてスライド式及び可動式の収納棚とすること。(詳細については別途協議)

- (16) あて木、送排風機等の資機材はスライド棚を使用して収納すること。収納時、スライド時ともにワンタッチとし、片手でロック・解除・スライドができる構造とすること。(詳細については別途協議)
- (17) 空気ボンベを5本以上収納できるようにすること。なお、飛び出し防止措置をすること。(詳細については別途協議)
- (18) 車両上部のクレーン右側に、資機材収納庫(アルミ製)を設け、内部に照明を取り付けること。本収納庫は、水密性上面開閉扉としダンパー等を使用し風圧等により急激に閉まらないようにすること。なお収納する資機材は別途協議。
- (19) 収納庫の棚等には、収納されている資機材の名称を掲げる名盤を設けること。なお、収納資機材を変更した場合でも、名称を変更できる構造とすること。
- (20) 指示する資機材には、アルミ製または木製の収納箱を作成して保護する。また、これらの収納箱には振動等により中の資機材が破損しない構造とし、搬送に便利な手掛けを設けること。
- (21) キャブ両側の出し入れしやすい位置にゴム製の大型車用輪止め(左右各2個)の固定金具を作製し取り付けること。またストッパー付とする。(取り付け位置は別途協議)
- (22) バックボード及びレスキューフレームの収納スペースは車体後部壁面左右上部に設け、後部から容易に取り出せること。(詳細については別途協議)
- (23) 収納庫内はライトグレー色で統一すること。
- (24) 資機材を収納するにあたり、必要と思われる箇所は、斜め引出し式とし、資機材を容易に取り出せるよう工夫すること。
- (25) 本仕様書に明記されていない資機材の配置、固定装置、出し入れ等については、別途打合せにより指示する。

11 扉の構造

- (1) 車両両側下部ボックスの扉
 - ア 下開きでステップ兼用とすること。
 - イ ドアロック(フラットタイプ)を取り付けること。
 - ウ 扉の内側はアルミ製縞板張りとすること。
 - エ 扉の周囲に黄色の高輝度反射テープを張ること。(詳細については別途協議)
 - オ フルフラット方式とし、上部ボックスの資機材を積み降ろしする際のステップを兼ねるので、内側をアルミ製縞板で張り滑り止めを施し水平位置で固定でき、隊員2人(180kg程度)の荷重に十分耐える強度を有し変形しないこと。
- (2) 車両両側面
 - ア 車両両側面の資機材収納庫(左右各2箇所、計4箇所)はシャッターとすること。
 - イ シャッターはアルミ合金製ローラー方式で、耐久性、防水性を有し開閉が任意の位置において停止できる機能を有すること。
 - ウ 開閉ハンドルはバーハンドル式としハンドル上部に庇を設けロック装置付きとする。
 - エ シャッターの取り付けは、走行時の振動等で歪んだり、ガタついたりせず、内部に雨水や塵ゴミなど可能な限り進入しないようにすること。
 - オ バーハンドル周辺にLED式バーライトを設け、開閉時などに手元を照射できるようにすること。

12 その他の取付品等

(1) 昇降用梯子、タラップ等

ア 後部座席昇降口両側の下方にドア開放と連動した展開式ステップを設け、上面はアルミ縞板張りとする。

イ 車両後部の昇降用ステップは、クレーン保護パネルと車体後部壁面の左右に設け、横さんの間隔は 200mm 程度、ピッチは 300mm 程度で設け滑り止めを施すこと。

ウ 梯子、タラップ、ステップ等は、堅牢かつ昇降容易な構造とすること。

(2) 手摺及び握り棒

車両整備等に必要な場所に手摺又は握り棒を取り付けること。

(3) バッテリーは、引き出し装置付のボックスを取り付けること。尚、コード類はバッテリーの出入りに支障がないよう十分な余裕をとると共にコード類が常時露出しないこと。

(4) 消防章は、キャブフロント部に取り付けること。(詳細については別途協議)

(5) 各フェンダーに、ゴム製の泥除けを取り付けること。

(6) 車両後部に 20 型消火器を取り付けること。(詳細については別途協議)

13 電装品関係

(1) 自動エンジン回転制御装置(マルチスロットルコントロールシステム TMC-05)

車両に装備される以下ア、イの装置を使用する際に、最適なエンジン回転数を自動的に選択する装置を設けること。また、誤作動による各装置の破損を防ぐため、ア、イの各装置を併用する時には、優先される装置の最適エンジン回転数を自動的に選択、維持し装置の運用効率を高めること。

ア ウインチ装置

(ア) 有線リモコンを操作した時のみ、エンジン回転数が最適の状態となること。

(イ) 有線リモコンを操作しない時は、エンジン回転数がアイドリングの状態に戻る。

(ウ) 屋上照明装置と併用時は、屋上照明装置の最適回転数を優先させること。

イ クレーン装置

(ア) 屋上照明装置と併用時は屋上照明装置の最適回転数を優先し、アクセルレバーを最大にした場合もエンジン回転数に影響を与えないこと。

(イ) 屋上照明装置と併用しない時は、アクセルレバーに応じ最大の回転数での操作が可能とすること。

ウ 屋上照明装置

(ア) 屋上照明装置点灯時に、自動的に屋上照明装置の最適回転数までエンジン回転を引上げる。

(イ) 屋上照明装置消灯時に、エンジン回転数がアイドリング状態に戻る。

(2) 各電装品の電気配線及び無線電話装置関係の配線は、キャブ内張り内を通すこととし、キャブ本体の貫通部は、雨水等の浸入漏れを防止すると共に電装品及び各配線の取り付け箇所が容易に点検できる構造とすること。

(3) 配線及びコネクタ等は、防水及び防錆性能を有するものを使用し、コネクタ等に雨水が直接かからない措置を講ずること。

(4) 電装品のスイッチは、十連スイッチとすること。(詳細については別途協議)

- (5) 各装置のヒューズは、センターコンソールボックスの付近に専用のボックスを設け取り付けると共に、ヒューズごとに銘板を取り付けること。
- (6) 車両外部コンセント
 - ア 外部コンセント用インバーターを適当な位置に設置し、外部コンセントを取り付けること。(詳細については別途協議)
 - イ 車両後部側面に 25m以上のケーブル自動巻取りリール(残量表示付)式防水コンセント2口を設けること。(詳細については別途協議)
 - ウ 資機材収納庫前方両側面に各1箇所コンセント(2口)を設けること。(詳細については別途協議)
- (7) 資機材収納庫等の照明灯
 - ア 照明灯、計器灯のメインスイッチは十連スイッチとすること。(詳細については別途協議)
 - イ 資機材収納庫内を有効に照明できるLED式照明灯を必要箇所に設けること。(取り付け位置等詳細については別途協議)
 - ウ 車両両側面上部嵩上げ部分に、車両側面を有効に照明できるLED式作業灯を各 3 個(計 6 個)取り付けること。
 - エ 車両後部の左右赤色点滅灯の下部にLED式作業灯を各 1 個取り付けること。
 - オ その他必要と思われる場所にLED式作業灯を取り付けること。
- (8) 路肩灯は、左右後輪前方付近に取り付け、車幅灯スイッチと連動させること。
- (9) テールランプはLED式テールランプを取り付けること。

14 無線電話装置

- (1) 無線装置本体の取付けは、現行車両の無線電話装置を載せ替え取り付けること。
- (2) 車内用スピーカー、ケーブル、コンバーター及び空中線は新設すること。(取り付け位置については別途協議)
- (3) 外部無線(ハンドセット・台付)を配線し取り付けること。無線電話装置用ボックス及び外部スピーカーを取り付けること。(取り付け位置については別途協議)
- (4) 無線用アンテナは現行車両のデジタル無線アンテナを載せ替え取り付けること。

15 車両動態装置(AVM 装置)

車両動態装置 (AVM 装置)の載せ替え、取り付けに当っては本部の指定する通信機器事業者と協議を行った後に実施し、その費用は受注者が負担すること。

第5 塗装等

1 塗装要領

塗装、メッキ及び文字の記入は、上質な材料を使用し、入念に仕上げること。

2 塗 色

- (1) 朱色
車両外面及びシャッターボックス外面
- (2) ライトグレー色
シャッターボックス内面
- (3) 黒色*

ア フェンダー内

イ 車両下廻り

* (3)については、塗装前にピッチングコート又は同等の塗装を施すこと。

3 メッキ

次の部分には、可能な限りステンレス又は、アルミ材を使用すること。ただし、鉄製品については銅メッキを施した後クロムメッキを施すこと。(ステンレス、アルミ製品を除く)

- (1) 止め金具類
- (2) 各種保護枠
- (3) 手摺
- (4) フロントグリル
- (5) サイドミラーカバー
- (6) ドアグリップ
- (7) その他、別途指示するもの。

4 文字等の記入

- (1) キャブ両側に、丸ゴシックの白文字で、書字方向は左横書とし「静岡県 下田消防本部」と記入すること。
- (2) 対空表示をキャブ上部の指揮台上面に黒文字で「静岡県 下田 41」と記入する。(中間検査時指定)
- (3) 車両正面右側及び後部左側に、丸ゴシックの白文字で、書字方向は左横書とし「下田 41」と記入する。(中間検査時指定)
- (4) 車両シャッター左右側面に英字で「SHIMODA RESCUE」と記入する。
- (5) 車両シャッター左右側面に本部がデザインした絵柄を貼付すること。
- (6) 車両の文字については、カットシール又は反射シールを使用すること。
- (7) 踏み込み禁止及び乗り入れ禁止場所には、禁止シールを貼付すること。
- (8) その他、文字の大きさ、マーキング等の字体、カラーについては、別途打ち合わせによるものとする。
- (9) 車両両側面の本部が指示する位置に、本部指定消防マーク(支給品)2枚を貼付すること。
- (10) その他、デザインや文字の記入に関して協議事項を反映し製作すること。

第6 検査

1 車両納入検査

シャシを艀装メーカーに納入した時期において、本部が必要と認める場合、次の事項について本部の担当者の立会い検査を受けるものとする。

- (1) エンジン番号及び車体番号
- (2) 取付け装置及び各付属品
- (3) その他、当本部の指示事項の確認

2 検査

本仕様書、承認図書及び協議事項に基づいて行うものとする。ただし、一部の検査については、

社内検査成績表等により省略するものとする。

3 中間検査

本部が実施するものとし、時期等については製作工程を考慮し行うものとする。検査を行う場合、受注者は製作工程等を考慮し検査日の30日前までに本部に依頼文書を提出すること。また、検査に伴う交通費及び宿泊費は受注者が負担すること。

4 最終検査

新規登録後、本部で行うものとし、検査の結果に不備事項又は不合格品がある場合は、本部の指示する日までに改修又は取替えを行い、再度検査を受けるものとする。

第7 補則

1 登録等の経費

- (1) 納入までに要する経費等は、受注者の負担とする。ただし、車両登録に要する経費のうち自動車損害賠償責任保険(保険期間 25 ヶ月分)・自動車重量税及びリサイクル料は本部が負担する。
- (2) 本車両納入によって廃車する、下田消防署配備、下田 41 の登録抹消車両の引き取り廃棄処分に係る費用は受注者が負担すること。ただし、本部が当該車両を売却するときはこの限りではない。

2 保証期間

納入の日から起算して1年間とし、保証書を提出すること。ただし、保証期間経過後であっても設計不良、製作上の欠陥等による故障等を生じた場合は、無償で修復または取替え等を行うこと。なお故障等が生じた場合の修理等については、速やかに対応すること。

3 納入

- (1) 新規登録後、各部の清掃手入れを実施のうえ、本部の指示する場所へ納入すること。なお、現場活動に即対応するために燃料は満タンにして各種申請書類や届出書類は提出を完了許認可後に納入すること。(別途協議)
- (2) 納入期限
令和 10 年3月 17 日
- (3) 納入場所
静岡県下田市六丁目1番 14 号
下田地区消防組合 下田消防本部
- (4) 納車台数
1 台

4 取扱い説明

納入時、本部の担当職員に対して専門係員を派遣し本部において取扱い説明を行うこと。

1 シャン関係

仕 様	内 容	数 量
シャン 5.5t 4WD シングルキャブ		1
オルタネーター変更		1
バッテリー変更		1
サイドPTO		1
フロントサスペンション強化		1
リアサスペンション強化		1
オーバーヘッドコンソール		1
フロントバンパーボイラー		1
バックミラー リモコンヒーター		1
ジャッキ		1
キャブ広幅+ハイルーフ化		1
電動キャブチルト		1
バッテリー引き出し式		1
オイルパンヒーター取付		1
エンジンアワーメーター取付		1
油温計取付		1
ラジアルタイヤ 245/70R19.5	アルミホイール付き	1
燃料タンク	100リットル	1
後退警報ブザー	ON/OFF SW付	1
サイドバイザー ステンレス製	4ドア	1
助手席サンバイザー		1
艀装メインスイッチ		1
LED式ヘッドランプ		1
ESスタート		1
イモビライザー		1
マルチインフォメーション		1
カーナビゲーション		1
バックアイカメラ		1
ドライブレコーダー		1
メッキグリル		1
キーレスエントリーオートロック		1
キャビン改造費	ルーフステージ付・D環4個	1
助手席、運転席後方収納庫		3
ルーフフロントコンソール LED室内灯	単独SW	1
前席LED 小 ドア連動	左右	1
ルーフフロントコンソール ネット含む		3
ルーフセンターコンソール ネット含む		1
ルーフリアコンソール ネット含む		1
後席LED室内灯 ドア連動	大 1箇所	2
防汚レザースhirtカバー	全席	1
助手席呼吸器埋込式シート		1
呼吸器固定装置(スマートドック)		3
シートライザー	個別	3
呼吸器内蔵シート	ブレイブシート	3
ハンガーダブルフック	5個	1
フレキシブル LEDマップランプ	1箇所	3
電流計・電圧計		1
コーナーセンサー		1
後方誘導員集音装置		1
隊長席ミラー		1
大型デジタル時計		1
インナーグリップ	Bピラー	1
デイルイト	青色	2
センターコンソール下部収納		1
キャビン内ルーフネット		2
ホワイトボード		1
リアリアコンソール下部パイプ		1
パイプ用フック ステンレス製	S管 5個	2
バックミラー メッキカバー	メッキステー含む	1
フロントウインドウ下部グリップ	メッキ	1
ドアグリップ	メッキ	1

シャン付属品

仕 様	内 容	数 量
フロアマット		1
停止表示板		1
スタッドレスタイヤ アルミホイール付き	6本	1
タイヤチェーン	シングル	1
エンジンキー追加		3
スペアタイヤ	ラジアル後	1
スペアタイヤ	スタッドレス前後	1
標準工具		1
発煙筒		1
燃料満タン		1
リヤフロアマット		1

2 艀装

仕 様	内 容	数量
標準艀装費	II型規格(曲面構造)	1
改審書 検査 諸費用		1
陸送費		1
後部ナンバープレート 埋め込み		1
車輪止め 2ヶ 収納枠付	ゴム製	2
車輪止め 1ヶ 小型		1
消防章		1
旗立てパイプ		1
キャブ内ボックス	A3サイズ	1
車体天井 嵩上げ	前後方向	1
後端展開式ステップ(LED内蔵)	2箇所	1
アルミ収納箱一式		1
手動シャッター	左右各2箇所	1
バーハンドル差額	ハンセンシャッター	1
アーム型ダンパー式チェーンレスステップ	6箇所	1
スカートボックス縁 反射テープ	全屏	1
サイド環フック式	左右	1
嵩上げ部支点フック		4
カギ付・3連梯子昇降装置	手動式	1
バスケットストレッチャー 左右通し	仕切り付き	1
バスケット担架収納庫内とび口収納		1
後部屋根昇降用タラップ 逆L字型	左右 各1箇所	1
外部無線ボックス	SP部ルーバー型	2
後壁上面長物収納庫 突き通し型	後面扉式	1
後壁上面長物収納庫用	トレー	3
消火器 BKT付	ABC-20型	1
屋根上アルミ収納ボックス	着脱式	1
油圧切り替え確認灯		3
リアヒーター		1
リアクーラー		1
自動エンジン回転制御装置	マルチ スロットル コントロール	1
インバーター装置		1
マグネット式コンセント		1
外部コンセント自動切り替え装置		1
キャブ内コンセント		4
フルスライド引き出し		1
積載庫内アルマイト蓋 パンチングへ変更		1
斜め引き出し		1
簡易斜め引き出し		2
キャブ内無線スピーカー取り付け		2
AVM・無線装置載せ替え		1
スピーカーボックス		2
アルミボックスゴム板及びMCナイロン		1
リアバンパー側面及び中央収納庫		1
ロープ収納部パンチング引き出し		1
ロープ収納部 パンチング	ラバーコーティング	1
フック小		10
フック大		10
フロント牽引フック	バウシャックル	2
リア牽引フック	バウシャックル	2
シャッター塗装	両面	1
サイドドア文字記入	両面	1
シャッター部文字記入	両面	1
シャッター部デザイン	両面	1
対空表示文字記入		1
ハイルーフ側面文字記入	両面	1
車体前部 文字記入		1
後壁 文字記入		1
塩害ガード塗装		1
クレーン特殊塗装		1

3 電装品

仕 様	内 容	数量
LEDコンビネーションランプ	バックランプ含む	1
サイドマーカーランプ 2個	LED	1
散光式赤色警光灯		1
シャッター上部雨返し部LED灯		4
LEDナンバー灯一式		1
路肩灯(シャインマーカー)		1
フロントグリル赤色警光灯一式	LED 左右	1
フロントバンパー赤色灯 ガード付一式	LED 左右	1
側面標識灯	LED 左右	1
ハイルーフ側面LED側面作業灯		2
エンジンLED点検灯		1
10連スイッチボックス		1
電子サイレンアンプ 音声合成装置付	TSK-D152	1
サイレンアンプマイク増設		1
電子サイレンスピーカー		1
モーターサイレン	バンパー下取付	1
嵩上げ部LED側面作業灯		6
嵩上げ部赤色灯	LED	6
庫内灯 LED		1
後部赤色点滅灯 ガード付	LED	2
後部作業灯	LED	2
リア展開ステップ側面灯		6
インパネ照射灯		1
対空赤色点滅灯	LED 左右	1
ハイルーフ前面作業灯	LED	1
クレーン操作部作業灯		2
屋根上アルミボックス内作業灯		1
アウトリガーサイドカバー側面警告灯		4
アウトリガ下部照射灯		2
クレーンブーム下部LED		1

4 照明装置

仕 様	内 容	数量
バッテリー照明装置 LED160W×2灯式	ケーブルレス伸縮柱	1
ケーブルレス 配電制御操作盤		1
無線装置	到達距離50m	1
インバーター		1
車体コンセント	100V・15A	2
コンセントリール		1

5 ウインチ装置

仕 様	内 容	数量
ロットラーウインチ前引き バンパー張出	TR030/7 TREIMATIC	1
フロントバンパー張出し改造	ロットラー	1
フロント ピンドルフック	左右各1個	1
フロントアルミ縞板カバー		1
ウインチ用 ワイヤロープ		1
ウインチ用 シャックル	5トン	1
ウインチ用 フック	5トン	1
フック常時接続		1
ウインチ用シャックル	3トン	2

6 クレーン装置

仕 様	内 容	数量
クレーン本体 直伸型 軽量4段	304シリーズ	1
液晶ラジコン JOYステック式		1
インフォメーションパネル		1
クレーンギアボックス周辺手摺		1
スーパーユニフック	自動格納・解除装置	1
クレーン 後部保護板	手摺付	1
パワーセイビングバルブ	照明付	1
ブーム先端照明灯	LED	1
ブーム・アウトリガー 未格納装置		1
アウトリガーシリンダーカバー	左右	1
アウトリガー灯	左右 ガード付	1
アウトリガー反射テープ		1
敷き板 収納枠付	マグネット、樹脂製	2
繊維スリング	3トン×3m	2
繊維スリング	3トン×5m	2
クレーン用 シャックル	3トン	1
クレーン用 滑車	3トン	1
ワイヤー抑え装置		1
クレーンブーム・アウトリガー支点D環		1

種 別	資機材名	型 式	数 量
一般救助器具	三連梯子	関東梯子株式会社 ステンレス製3連梯子 (KHFL-SIW87)	1
	ワイヤー梯子	関東梯子株式会社 (KHFL-Y-11)	1
	ウェビングラダー	TOWA 10m	1
	かぎ付梯子	関東梯子株式会社 チタン製1連梯子 (KHFL-CT31)	1
	救命索発射銃	レスキューショット J00008	1
	火災救助用耐熱ロープ	エックスモンスター 耐熱ロープ「シールド」 10.5mm 25m	1
	ロープバッグ	セイバーズ RRY-01	1
	救助用縛帯	ツヨロン 被災者吊り上げベルト(R430) ※簡易縛帯	1
重量物排除用器具	大型電動油圧カッター	ホルマトロ PENTHEONカッター PCU40	1
	大型電導油圧コンビツール	ホルマトロ PENTHEONコンビツール PCT50	1
	大型電動油圧スプレッダー	ホルマトロ PENTHEONスプレッダー PSP50	1
	【スプレッダー オプション】	ホルマトロ チェーンアダプター PAS02	1
	【スプレッダー オプション】	ホルマトロ 牽引チェーン(ケース入り)※ 1.5m3m各1本 PCS02	1
	マット型空気ジャッキ式	ホルマトロ リフトバッグ ①コントローラー HDC 12J ②レギュレーター PRV 12J ③エアーホース 黄10m×1、青10m×1 ④開閉ホース SOH 12×4 ⑤リフトバッグ×6 (①HLB2②HLB6③HLB8④HLB31⑤HLB38 ⑥HLB63)	①×1 ②×1 ③×2 ④×4 ⑤×6
	ラムシリンダー	ホルマトロ PENTHEONラム PTR50	1
	【油圧関係 バッテリー】	ホルマトロ リチウムイオンバッテリー PBPA288	3
	【油圧関係 充電器関係】	ホルマトロ充電器 PBCH4	3
	【油圧関係 充電器関係】	ホルマトロ オンツールチャージコード POTC1	3
	【油圧関係 充電器関係】	ホルマトロ デイジーチェーンパワーコード DCPC1	2
【油圧関係 電力供給コード】	ホルマトロ メインパワーコネクター	1	

種 別	資機材名	型 式	数 量
切断器具	エンジンカッター	マキタ CE004GZ	1
	エンジンカッター用ブレード	マキタ 正配列レーザーブレード A-51035	1
	エンジンカッター用ブレード	マキタ 切断砥石 ロングライフタイプ A-77279	1
	チェーンソー	マキタ MUC019GZ4	1
	ルートカッター	ゼノア RC6200P	1
	鉄線カッター	株式会社松阪鉄工所 活線ボルトクリップ600	1
	空気切断機	タイガーエアソー	1
	ディスクグラインダー	マキタ 充電式ディスクグラインダ (GA001GZ)	1
	ディスクグラインダー ケース	マキタ 充電式ディスクグラインダ (GA001GZ)用ケース	1
	ディスクグラインダー用ブレード	マキタ ダイヤモンドホイール (A-53475)	2
	ディスクグラインダー用ブレード	マキタ 切断砥石 金属・ステンレス用 (A-59558)	1
	電動鋸	マキタ 充電式レシプロソー (JR002GRDX)	1
	電動鋸用ブレード	マキタ ブレード 超硬刃 (A-61656)	3
	電動鋸用ブレード	マキタ ブレード 木材(釘可)・鉄・ステンレス用 (A- 58017)	1
	ペダルカッター	オグラ 油圧ポンプ OMC-931 パーカッター OMC-923 ドアオープナー OMC-936	1
破壊用器具	ドア開放用ツール	ホルマトロ フォーシブルエントリーツールT1	1
	車両破壊ツールセット	ルーカス LXグラス	1
	ハンマー	両口ハンマー 4ポンド	1
	ハンマー	AMPCOセーフティツール 防爆ハンマー(H-72FG)	1
	ハンマドリル	マキタ HR006GZK	1
	ハンマドリル ビット	マキタ ハンマドリル 40mm ドリル (A-58908)	1
	ハンマドリル ビット	マキタ ハンマドリル 40mm ハツリ (A-41408)	1

種 別	資機材名	型 式	数 量
検知測定用器具	有毒ガス測定器	理研計器 GX9000 浮子付きサンプリングチューブ (8m)	1
	耐電衣	高圧用電気絶縁ゴム手袋 YS-101-21-01 絶縁ゴム長靴 YS-111-09-07 絶縁ズボン YS-122-11-05 絶縁上衣 YS-121-46-05	2
	簡易画像探査装置	Seek Fire PRO 300	5
呼吸保護用器具	空気呼吸器	ライフゼムNM30	5
	空気ボンベ	4.7L (重松製作所 ブルネッカー530CⅢA)	6
隊員保護用器具	携帯警報器	MSA モーションスカウト K-T-R (キー付)	5
	防毒マスク	3M 防毒マスク 6800DIN	5
収容器具	舟形担架	FERNO バスケットストレッチャー (71-S)	1
	タイタンTI(分離型)	タイタンTI(分離型)	1
	タイタン用アウトースキッド	BARHAR 担架用スキッドシート	1
	パーティカルストレッチャー	FERNO パーティカルストレッチャー	1
		アウトースキッド	1
	タイタン用浮環	フローテーションカラー	1
	デラックスサバイバースリング	デラックスサバイバースリング	1
	デラックスエバックハーネス	デラックスエバックハーネス	1
タイタン用ブライドル	リフティングブライドル	1	
水難救助用器具	救命胴衣	PFDJPモデル	5
	救命浮環	レスキューチューブ	1
	スローバック	レスキューフロートバッグ (スロウライン付き)	1
山岳救助用器具	スタティックロープ 11mm×50m	CMCライフライン 黒	2
	スタティックロープ 11mm×100m	CMCライフライン オレンジ	2
	アルミカラビナ	ベツル オーケートライアクト グレー	32
	滑車(プーリー)	ASATスイベルプーリーシングル	1
	ロープバッグ	Saver's ロープバッグ50 RRY-03	1

種 別	資機材名	型 式	数 量
その他	アルミ製折りたたみリアカー	アルミス アルミ製折りたたみ式リアカー AOKC-200N	1
	伸縮式カラーコーン	伸縮式カラーコーン	4
	車両サポートシステム	ウェーバー スタブパック	2
	保護ツール	ガラスマネジメント用の粘着フィルム ホルマトロ	4
	車両サポートシステム	ルーカス オートクリブ AC-17	2
	車両サポートシステム	赤尾 ステップチョークAセット (ホルマトロ)	1
	車両サポートシステム	赤尾 ロックブロックBセット (ホルマトロ)	1
	保護ツール	ドンゲスA.S.S.(エアバッグ保護カバー) 運転席用 助手席用	1
	アクロック	AKL-20C エムアイドリーム	1
	ベルトスリング一式	2m×2、3m×2、4m×2、5m×2	1
	携帯発電機	ヤマハ EF1600is	1
	照明	マキタ フラッシュライト ML007G	1
		マキタ フラッシュライト ML007G用ケース	1
	送排風機	大西電機工業株式会社 ポータブルファン(防爆ママ BM-C)	1
		ダクト	1
	張力計	テンションメーター TMD-N3000	1
	携帯拡声器	ノボル電機 カルーイホン TD-503R	1
	携帯用GPS	ガーミン eTrex Touch GPSハンドヘルド	1
	検電チェッカー	電気自動車用検電チェッカ Evvolcheck HEV-750D型	1
	工具セット	KTC 両開き樹脂ケースセット52点(レッド)セッ ト工具	1
	インパクトドライバー	マキタ TD002GRDX	1
	マキタ 充電器	マキタ 多口充電ケース(8口) BCC01 (A-78346)	1
	マキタ バッテリー	マキタ 高出力リチウムイオンバッテリー (BL4080F)	4
	コンパクトキャリー	ナンシン樹脂運搬車コンパクトキャリー CC-101B2	1